

2018年5月16日

オカダ アイヨン 株式会社

(東証一部 6294)

会社説明会資料

代表取締役社長 苅田 俊幸



本日の内容

- 事業概要
- '18/3期 業績
- 中長期経営計画ローリングプランについて



オカダ アイオン 株式会社

■ 事業概要

会社概要

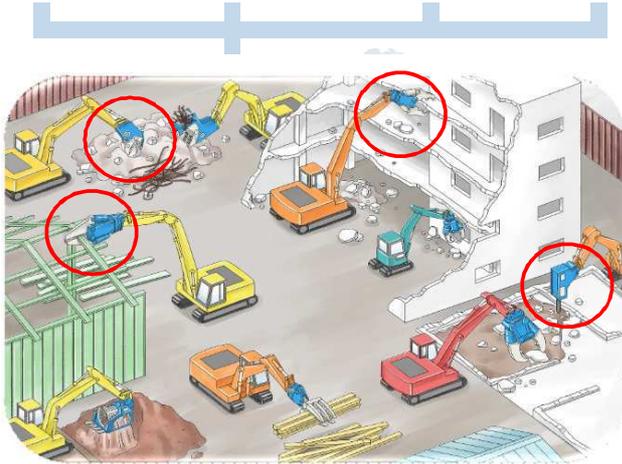
【'18/3期末】

会社名	オカダアイオン株式会社
創業	1938年7月（設立は1960年）
本社	大阪府大阪市港区海岸通4丁目1番18号
資本金	2,221百万円
売上高	15,399百万円（'18/3期末・連結）
決算期	3月31日
従業員	402名（連結）
事業内容	建設機械の製造、販売、修理
上場市場	東証一部（6294）
発行株式総数	8,378,700株



主力商品

解体アタッチメント (油圧ショベル先端部分)



環境機械 (木材破砕機)

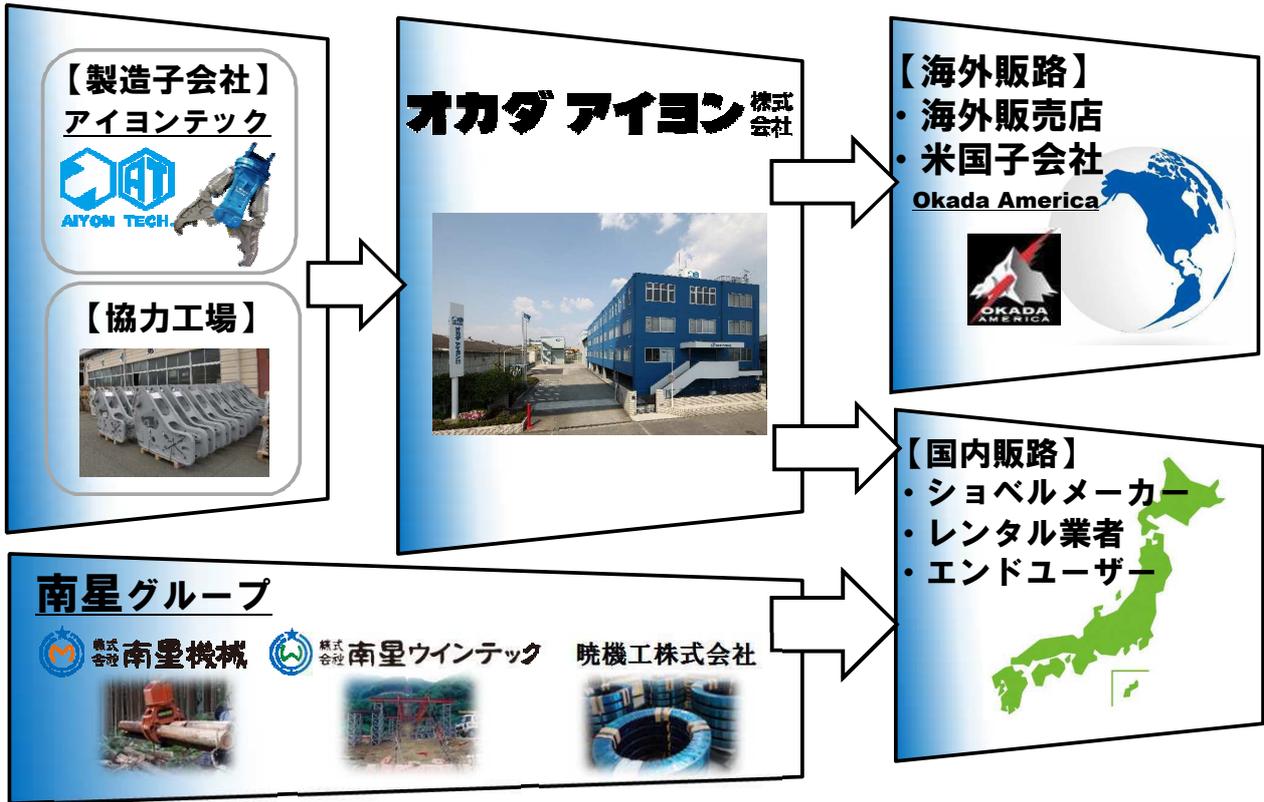


大割機 TS-WBクラッシャー



事業概要

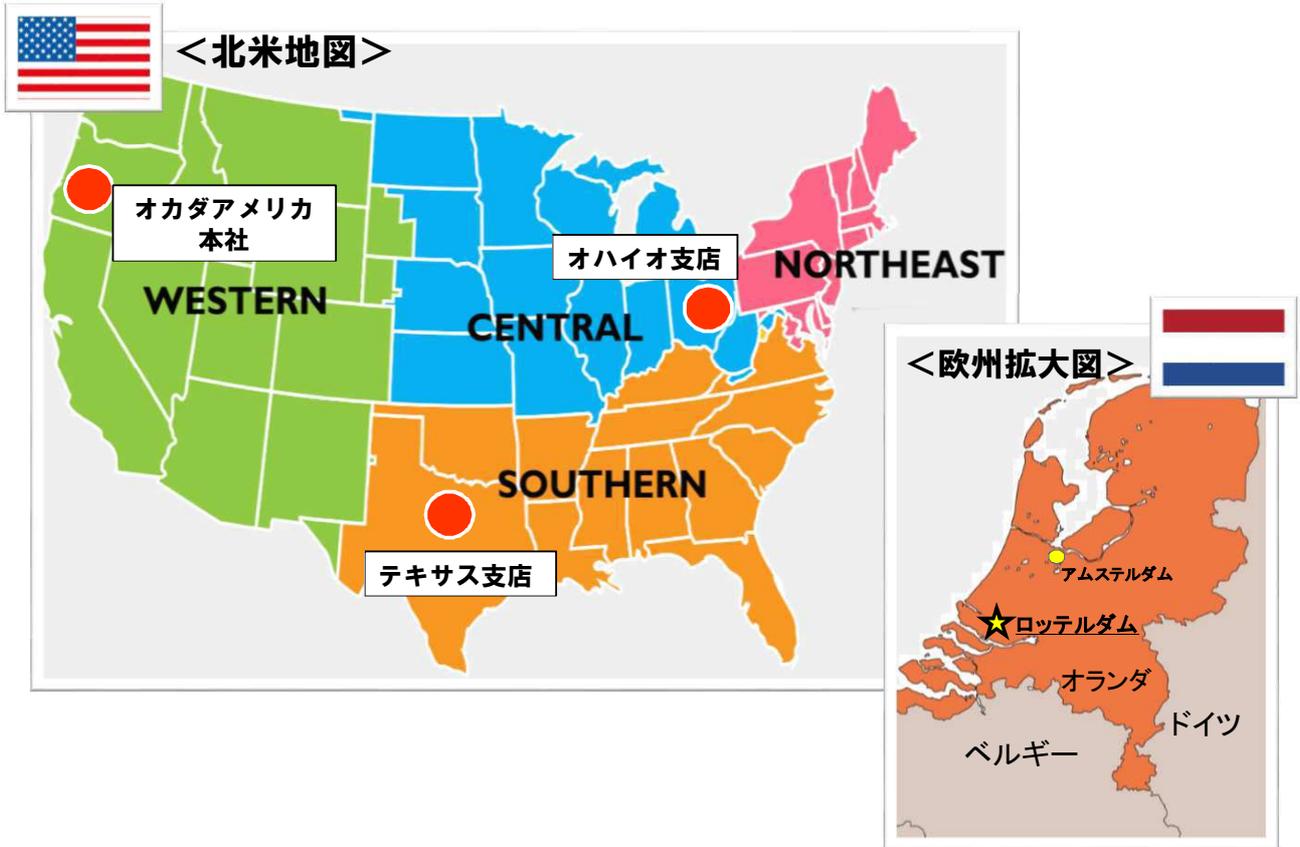
<製造・調達> <開発・販売・修理>



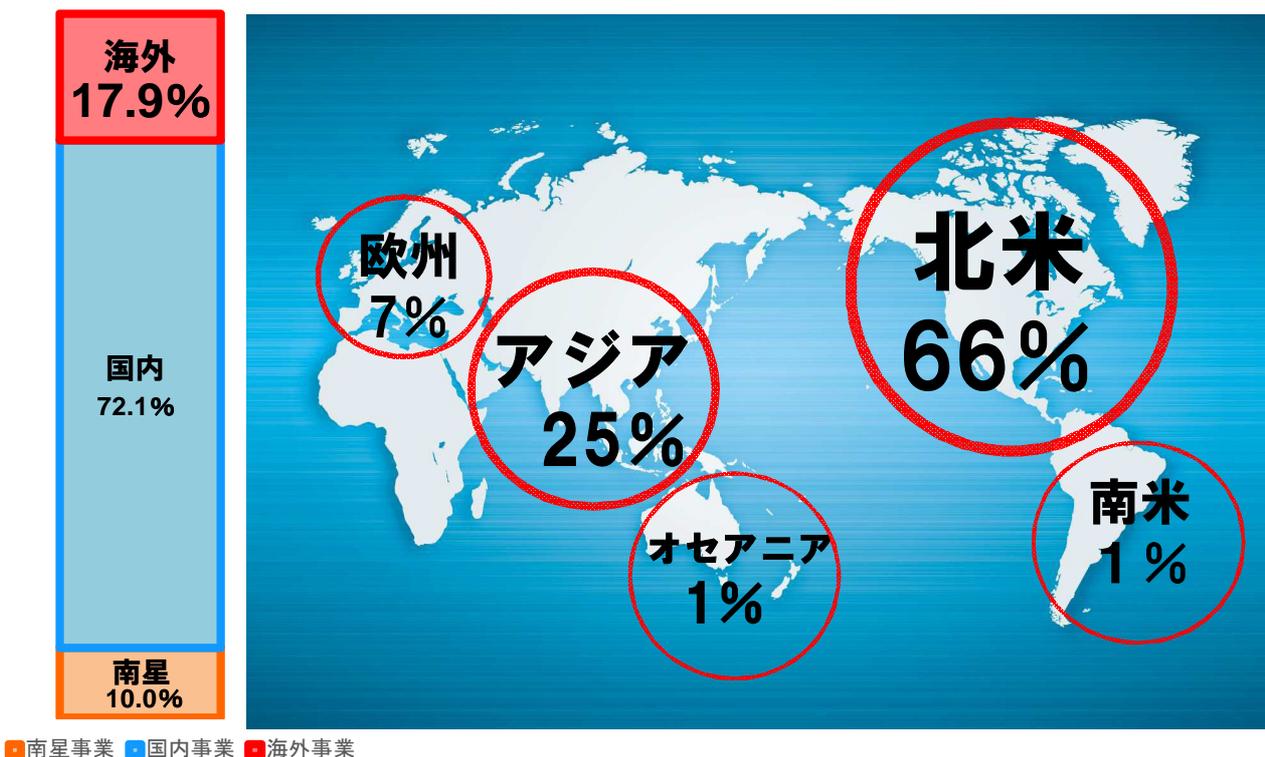
国内事業拠点 (全国営業12拠点、製造1拠点)



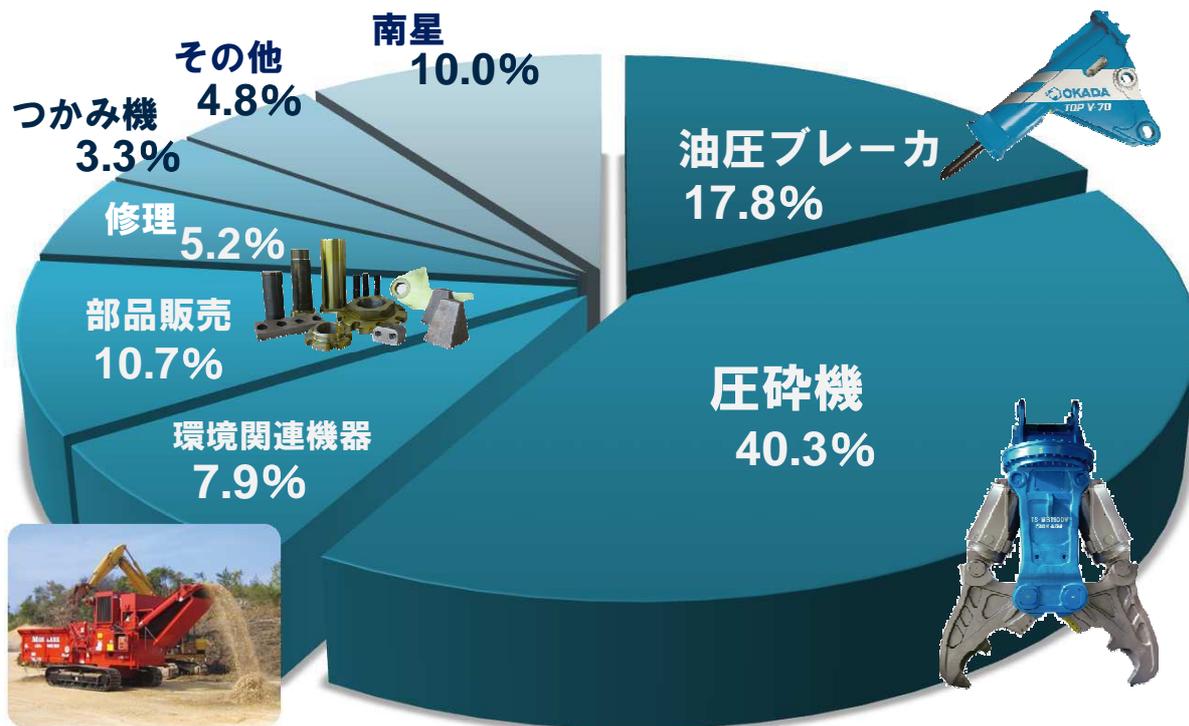
海外事業拠点



海外販売先比率 ('18/3期末)



売上構成比('18/3期末)



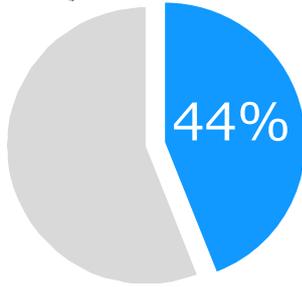
※ 2017年4月～2018年3月 当社売上構成比

当社の強み

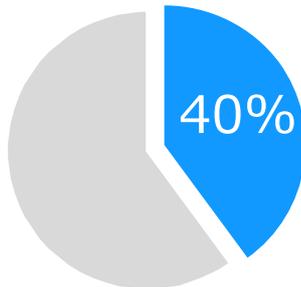


主力製品とその国内シェア

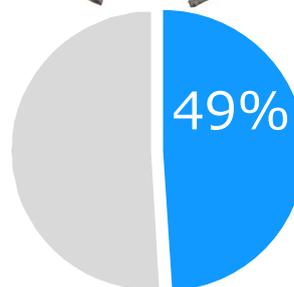
大割機



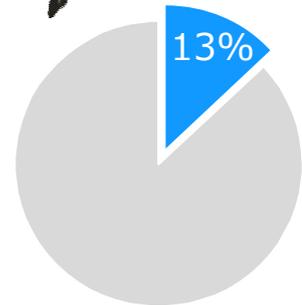
小割機



鉄骨カッター



油圧ブレーカ



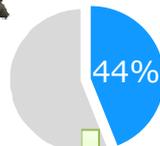
日本建設機械工業会発表資料をもとに当社作成('17/4~'18/3 累計)

首都圏 主力商品とその国内シェア

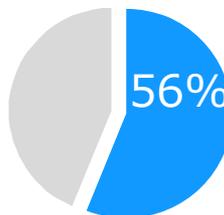
大割機



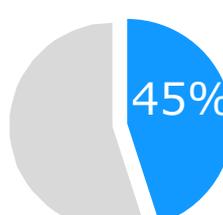
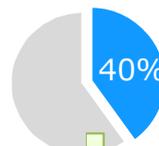
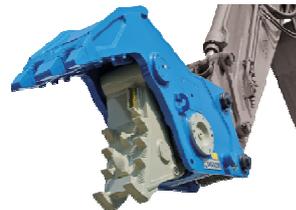
全国平均



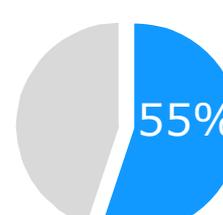
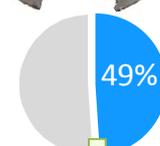
首都圏



小割機



鉄骨カッター

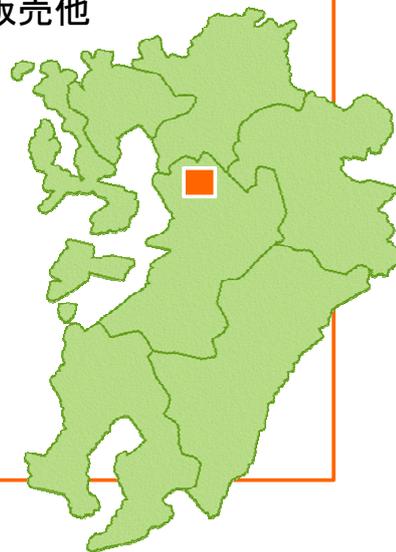


日本建設機械工業会発表資料をもとに当社作成('17/4~'18/3 累計)
 首都圏: 東京・埼玉・千葉・神奈川

南星機械グループの概要

【'18/3期末】

社名	株式会社南星機械、株式会社南星ウインテック 暁機工株式会社
事業内容	林業機械、スクラップ用機械、ケーブルクレーン、 大型ウインチ等の設計、製作、販売他
所在地	熊本県菊池市
創業	1948年
売上高	1,532百万円(6ヶ月累計)
従業員数	180名



南星グループの主な商品



株式会社 南星機械



林業用グラップル

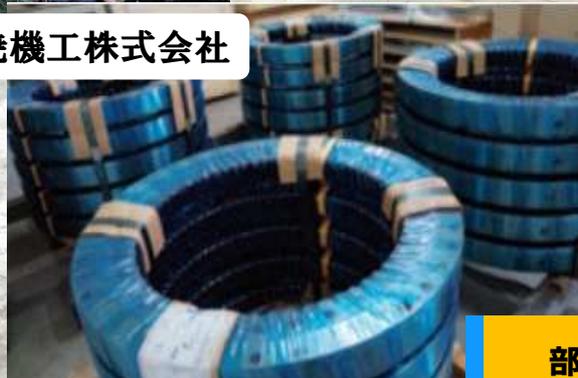


株式会社 南星ウインテック



ダム建設用ケーブルクレーン

暁機工株式会社

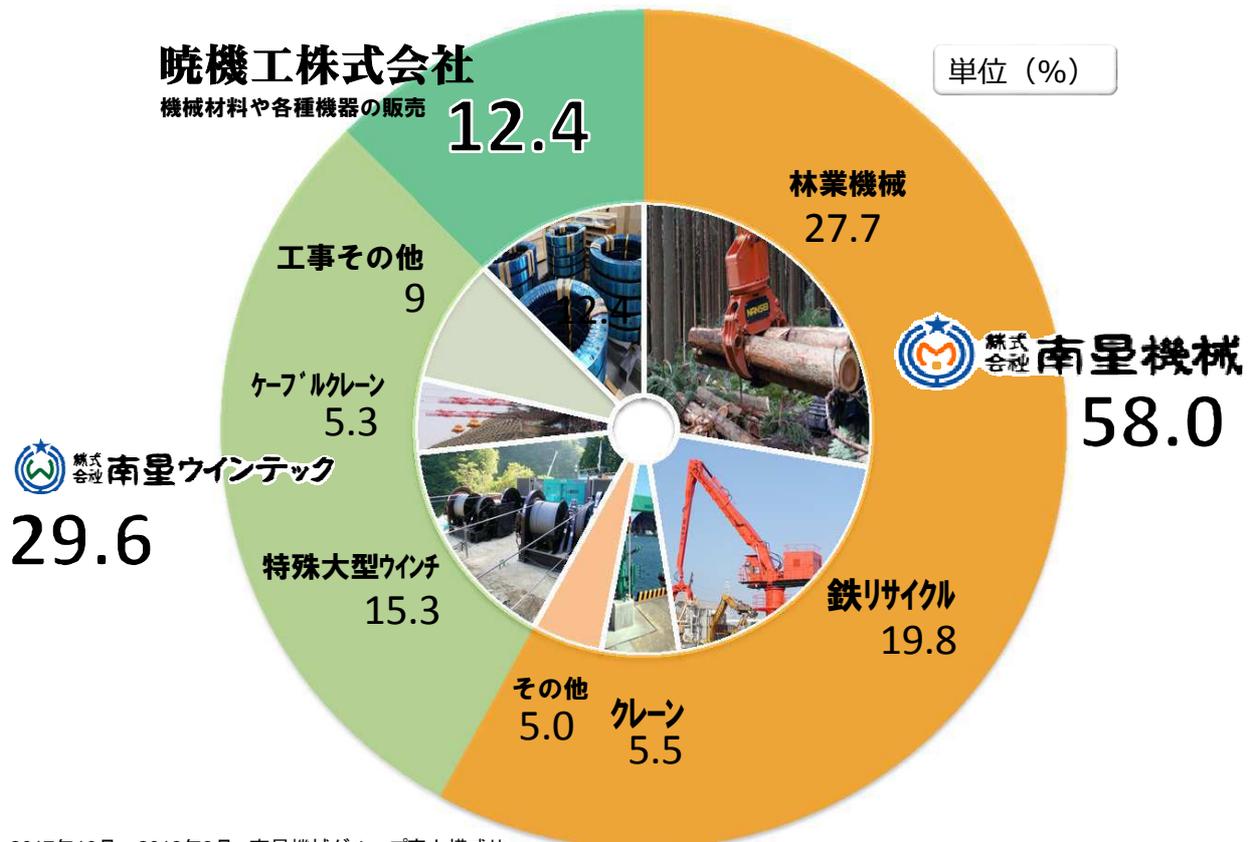


部品・工具販売

国内事業拠点（製造拠点および全国営業10拠点）



売上構成比（'18/3期）



※ 2017年10月～2018年3月 南星機械グループ売上構成比



オカダ アイヨン 株式会社

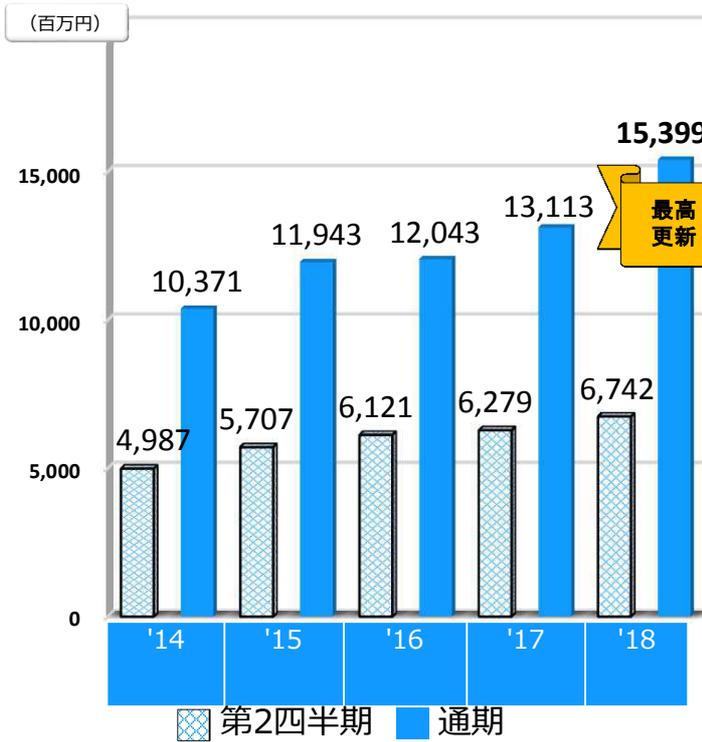
■'18/3期末 業績

'18/3期末 連結業績(要点)

※ () 内は前年同期比

- 連結売上高は153億99百万円 (+17.4%)
- 経常利益は、 12億70百万円 (+16.4%)
- 【国内】 再開発・建替需要が堅調で圧砕機・油圧ブレーカ共に販売増加するも、木材破砕機は排ガス規制影響もあり減少
売上高111億14百万円 (+0.9%)
- 【海外】 北米のレンタル需要回復、アジア代理店拡大、欧州の駐在員事務所開設で売上が増加し、
売上高27億52百万円 (+31.3%)
- 【南星】 第3四半期より連結対象とした南星事業は、
林業機械、鉄スクラップ用機械、各種ウインチ等を販売し、
売上高15億32百万円 (6ヶ月累計)

売上高 実績(過去5年間)



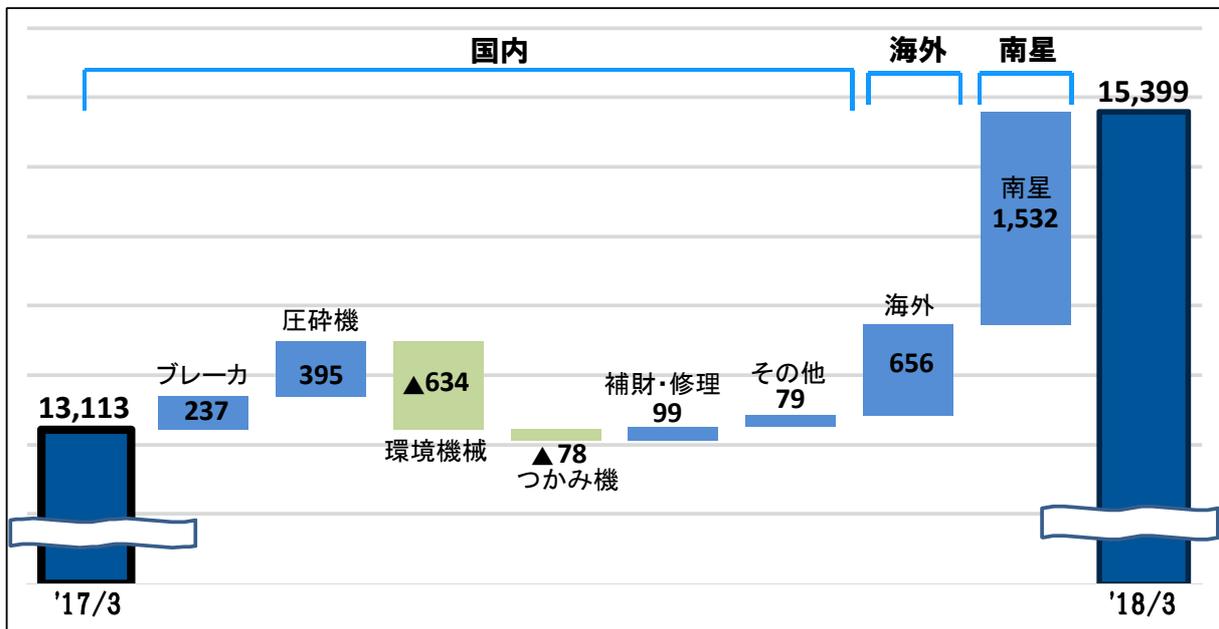
増収

- 8期連続増収 (+17.4%)
- 中計通り順調に推移
- 南星事業を3Qより連結対象に

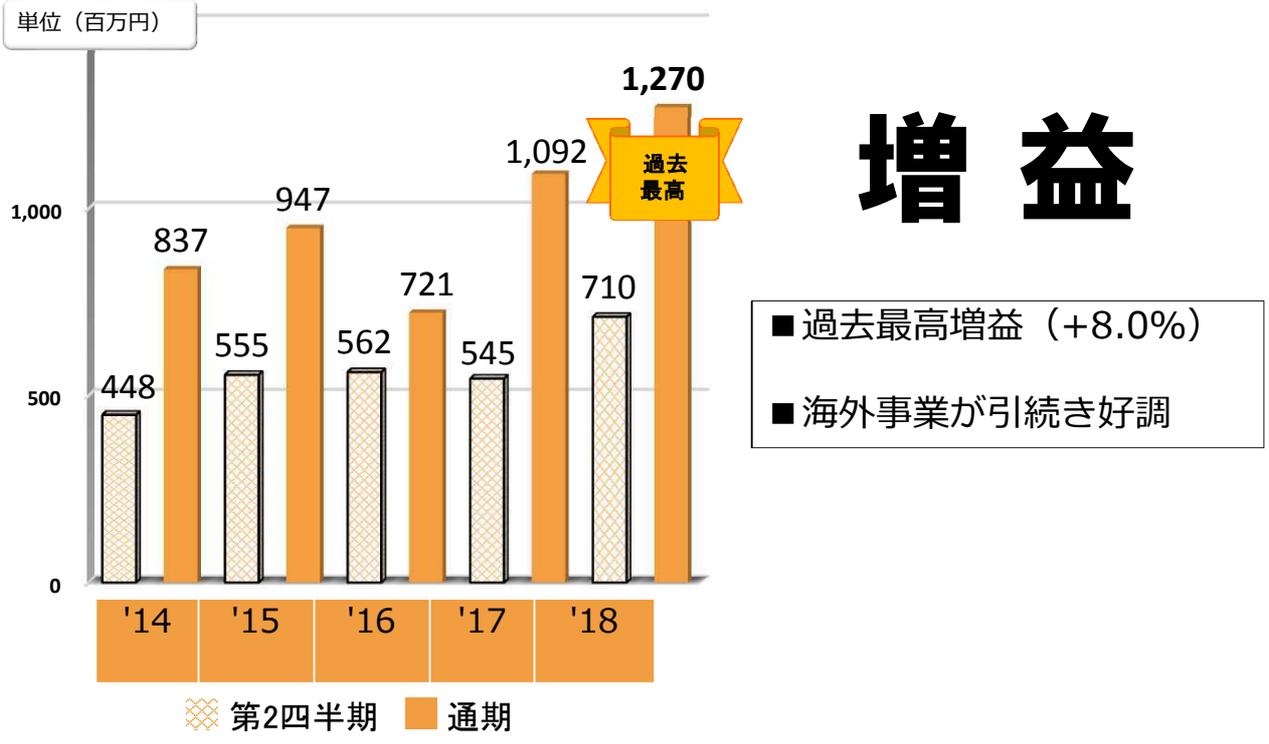
'18/3期末 売上高増減要因

- 国内は、主力圧砕機シェア続伸に加え、油圧ブレーカ戦略商品が好調
但し、環境機械は排ガス規制影響により大幅減
- 海外は、北米・アジア・欧州の各地域で売上増

単位(百万円)



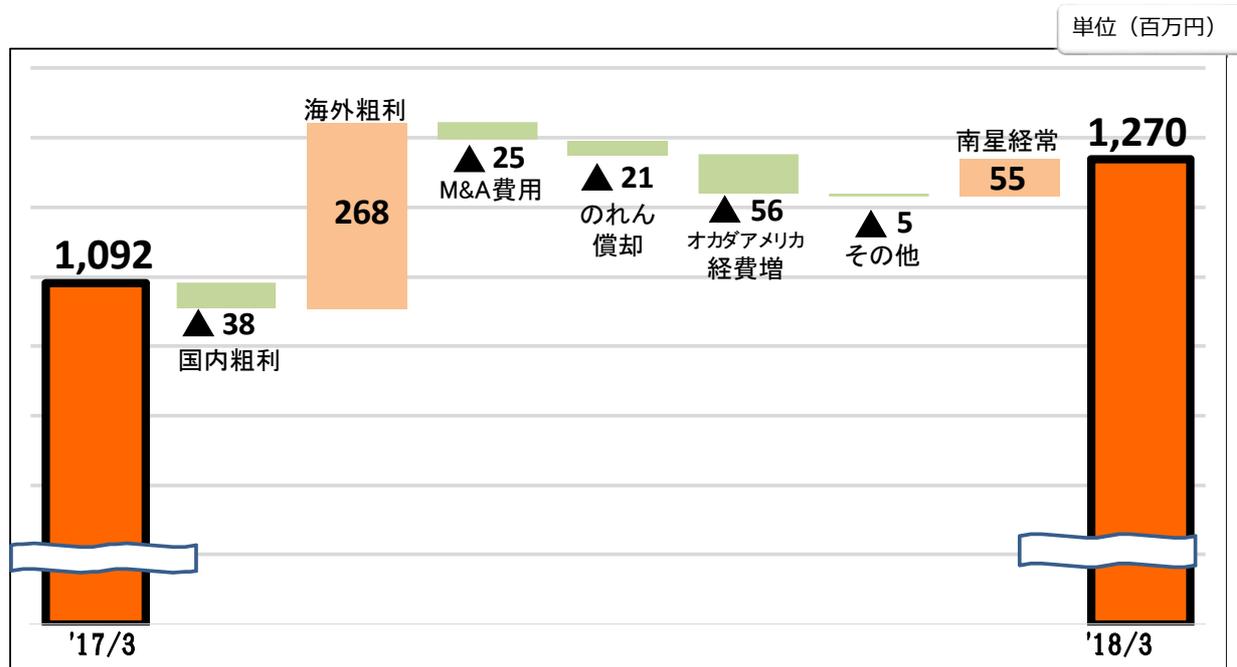
経常利益 過去推移(過去5年間)



増益

'18/3期 経常利益増減要因

- 国内粗利は円安による原価率上昇等により横ばい
- 海外粗利は売上増により引続き増益
- 販管費はM&A費用とのれん償却費が増加



特別損失内訳

単位（百万円）

債務保証損失	117
貸倒引当金繰入額	32
固定資産除却損	18
その他	28
合計	197

公募増資ハイライト

- 公募増資により、約 14億8千万円を調達
- 主な用途はM&A資金（13億円）、大型機補修対応の為の設備投資（5千万円）、広島営業所兼工場の建替等（5千万円）

発行株数	115万株 (内、OA15万株)
手取概算額総額	1,483百万円
増資後発行済株式総数	8,378,700株
増資後資本金	2,221百万円

アーチ2020



中長期経営計画（2ndステージ） ローリングプラン （2018～2020）

オカダアイヨン株式会社

© 2018 Okada Aiyon Corporation. All Rights Reserved.

中長期経営改革「アーチ2020作戦」骨子



「アーチ2020作戦」(2015年度～2020年度)

トリプル「1」を目指して、2020年に橋をかける。

営業目標 トリプル「2」		財務目標 トリプル「10」	
① 連結売上高	2倍(200億円)	① 売上高伸び率(平均)	10%以上
② 主要製品国内シェア	2割アップ	② 売上高営業利益率	10%以上
③ 海外売上高	2倍	③ 自己資本利益率(ROE)	10%以上

全社目標 **トリプル「1」**

- 〔一流〕 一流のプロ集団 による
- 〔一級〕 一級の製品・サービス により
- 〔一強〕 業界 NO. 1 の企業グループを目指す

© 2018 Okada Aiyon Corporation. All Rights Reserved.

中長期経営計画 アーチ2020

1stステージ(2015~17) 実績

2ndステージ(2018~20) 中期経営計画

百万円	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度
売上高	12,043	13,113	15,399	17,500	18,500	20,000
経常利益	721	1,092	1,270	1,500	1,700	2,000

成長+体制づくり

更なる成長+質の改善

- 生産体制:主力工場増設
- 国内営業:首都圏拠点新設
- アフタービジネス:サービス工場体制整備
- 海外展開:北米・欧州拠点新設
- 新規事業展開:南星グループとの経営統合
- 経営基盤強化:東証一部上場

- 国内** 南星グループとの融合→化学反応
- 海外** 北米・欧州・アジアの3極体制確立
- 経営基盤** 働き方改革への取組

© 2018 Okada Aiyon Corporation. All Rights Reserved.

2ndステージ(2018年度~20年度)の主要施策

国内

南星グループとの融合→化学反応

両者の強みを生かしたバリューチェーンの強化や商品ラインアップの充実により統合効果を最大化

海外

北米・欧州・アジアの3極体制の確立

欧州の現地法人化、東南アジアへの拠点設置により3極体制を構築し海外販売体制を強化

経営基盤

働き方改革への取り組み

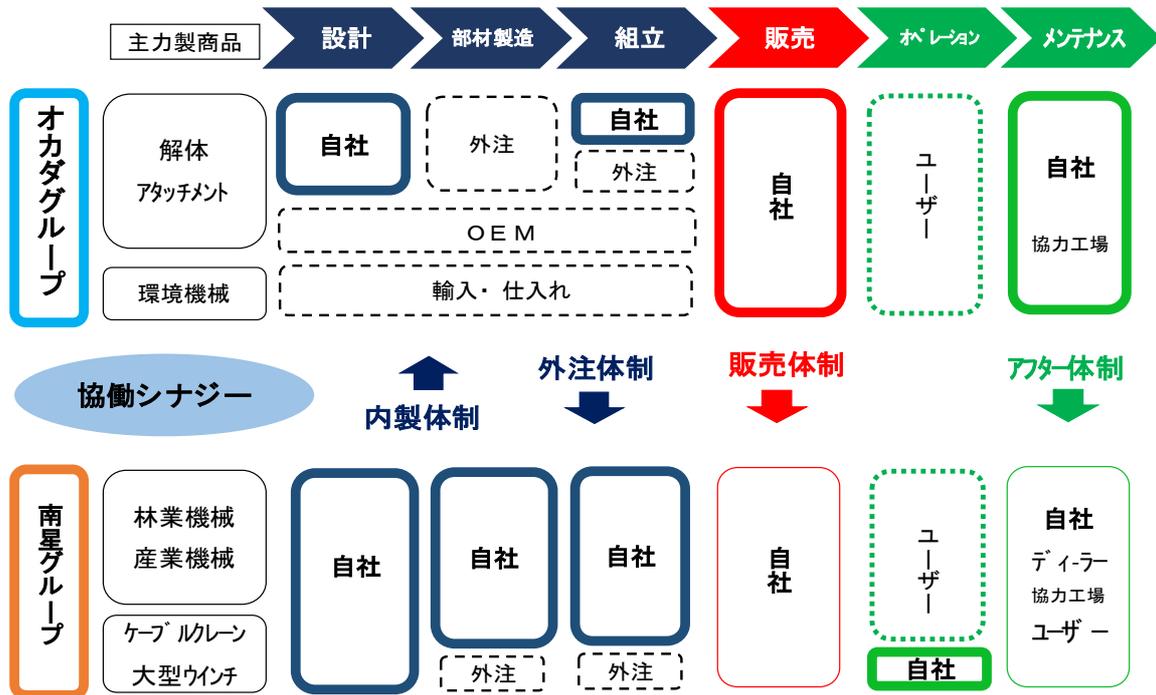
持続的成長と社員満足の実現のため「働きやすい、働きたくなる、働きがいのある会社」を目指す

© 2018 Okada Aiyon Corporation. All Rights Reserved.

バリューチェーン強化

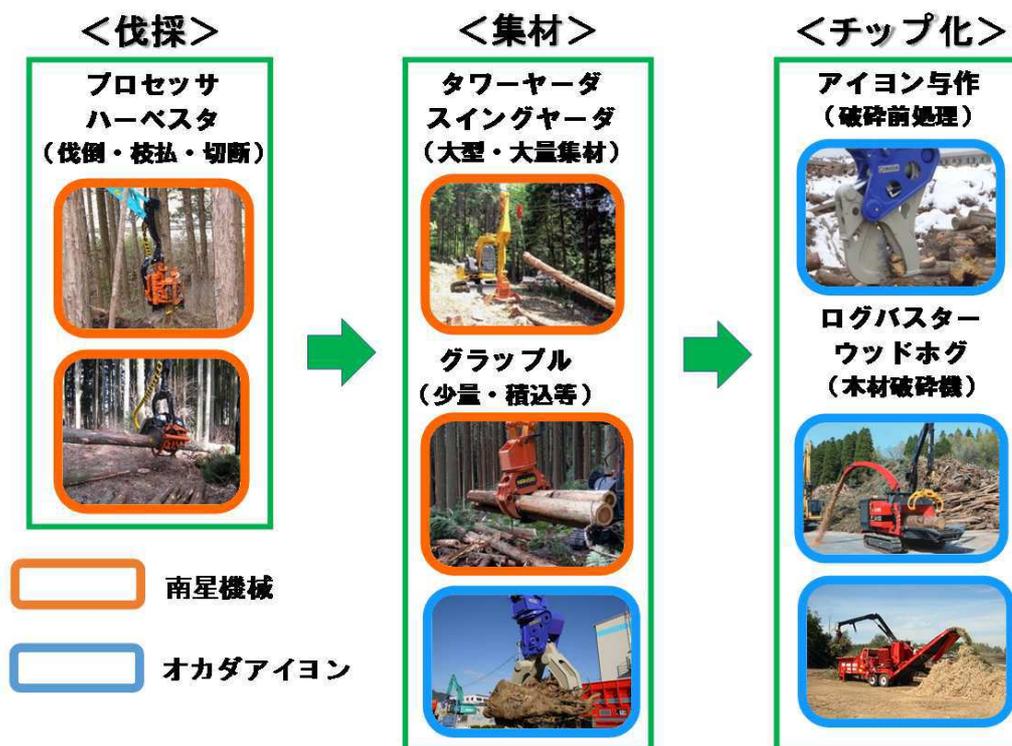
それぞれの強みを生かしベストプラクティスを選択

(下図の太枠がそれぞれの強み)



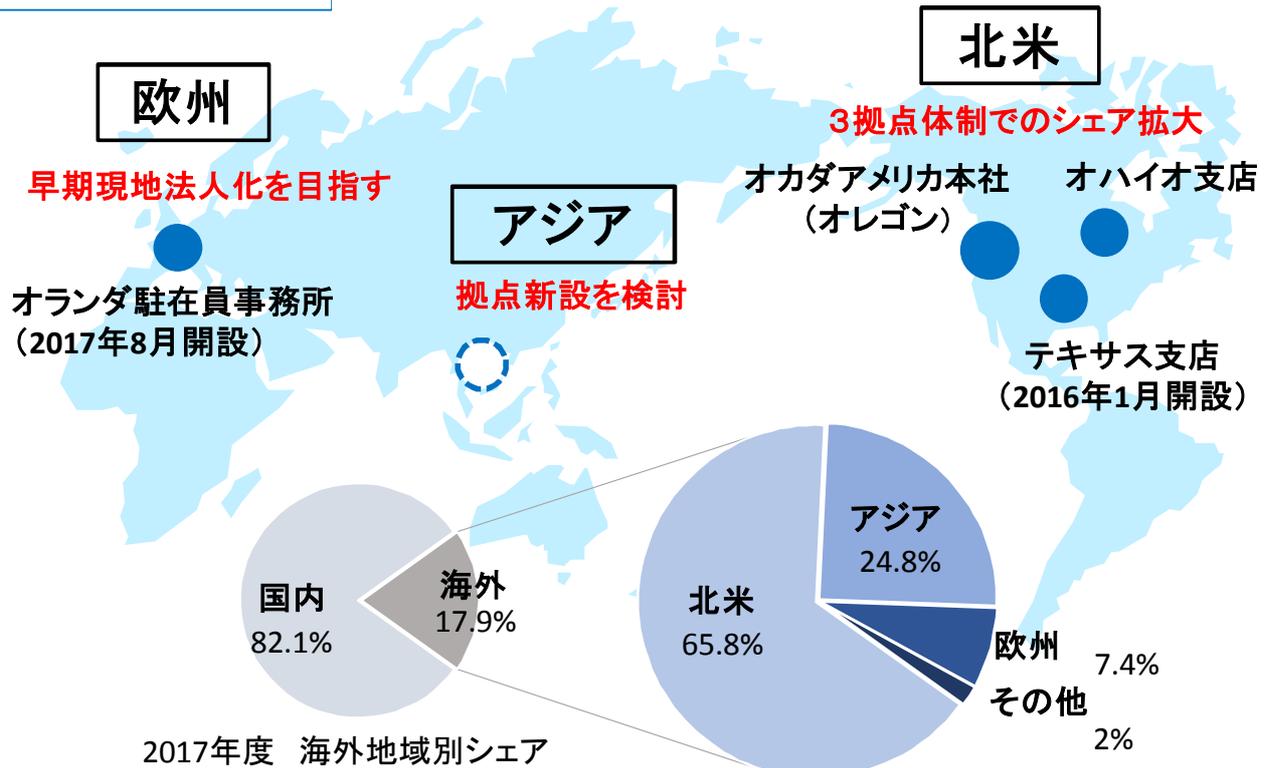
林業機械の対応力強化

林業機械は当社グループで一気通貫の対応が可能



海外3極体制確立

欧州・アジアでの拠点化推進

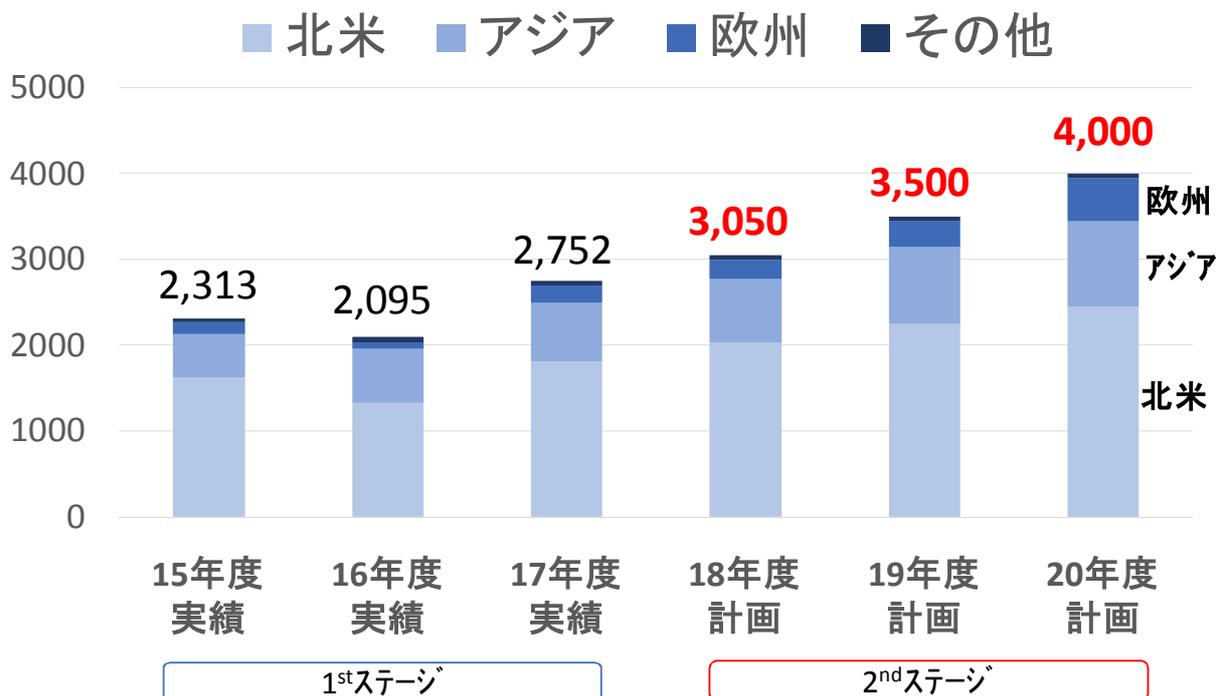


© 2018 Okada Aiyon Corporation. All Rights Reserved.

海外地域別計画

倍増目標の達成へ

百万円



© 2018 Okada Aiyon Corporation. All Rights Reserved.

キーワード

融合 → 化学反応

3つのC

1. **CONNECTED** 新しいつながりをより深め、シナジーの見える化を図る
2. **CHANGE** 変化に対応する（変わる・変える）
3. **CHALLENGE WITH CHECK** 志を高く 新たに挑戦、ただしチェックを怠らず

3つのCと2018年 八策

CONNECTED 新しいつながりをより深め、シナジーの見える化を図る

- ① 南星グループとの融合そして化学反応
- ② 協力会社を含めた生産能力の増強による売上げ、利益の嵩上げ

CHANGE 変化に対応する（変わる・変える）

- ③ システムの再構築・・・生産性の向上・効率化の推進
- ④ 働き方改革・・・社員満足度の向上・人材確保

CHALLENGE WITH CHECK 志を高く 新たに挑戦、ただしチェックを怠らず

- ⑤ 海外市場のさらなる開拓
- ⑥ アフターマーケットの推進による安定基盤の確保
- ⑦ 人材の積極的登用とOJT・研修などを通じた社員レベルの向上
- ⑧ コンプライアンス遵守とリスク管理の徹底

2ndステージ(2018年度～20年度)計数計画



業績 3カ年計画

(百万円)

	1stステージ実績			2ndステージ中期経営計画		
	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度
売上高	12,043	13,113	15,399	17,500	18,500	20,000
営業利益	760	1,106	1,195	1,500	1,700	2,000
経常利益	721	1,092	1,270	1,500	1,700	2,000
親会社株主に帰属する 当期純利益	438	696	666	930	1,050	1,250
海外売上高	2,313	2,095	2,752	3,050	3,500	4,000
海外売上比率	19.2%	16.0%	17.9%	17.4%	18.9%	20.0%

© 2018 Okada Aiyon Corporation. All Rights Reserved.

2ndステージ(2018年度～20年度)計数計画



業績 3カ年計画(計画対比)

[計画比] 上段: 前年ローリングプラン計画比 ('17年作成)
下段: 当初アーチ2020作戦計画比 ('15年作成)

(百万円)

	実績		2ndステージ中期経営計画					
	17年度	計画比	18年度	計画比	19年度	計画比	20年度	計画比
売上高	15,399	+1,399 +399	17,500	+2,500 +1,000	18,500	+2,500 +500	20,000	- 0
営業利益	1,195	▲55 ▲155	1,500	+150 ▲50	1,750	+250 0	2,000	- 0
経常利益	1,270	+20 ▲80	1,500	+150 ▲50	1,750	+250 0	2,000	- 0
親会社株主に帰属する 当期純利益	666	▲144 ▲134	930	+50 ▲20	1,050	+70 0	1,250	- +50

© 2018 Okada Aiyon Corporation. All Rights Reserved.

財務目標 3カ年計画

	目標	1stステージ実績			2ndステージ中期経営計画		
		15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度
売上高 伸び率	10.0%	0.8%	8.9%	17.4%	13.6%	5.7%	8.1%
売上高 営業利益率	10.0%	6.3%	8.4%	7.8%	8.6%	9.2%	10.0%
ROE	10.0%	6.5%	9.8%	7.9%	9.5%	9.9%	10.8%

© 2018 Okada Aiyon Corporation. All Rights Reserved.

ご清聴ありがとうございました

＜注意事項＞

本資料中の予想は、決算発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであります。

実際の業績は今後種々の要因によって異なる結果となる可能性があります。